

光徳だより

kotoku elementary school



kotoku-s@edu.city.kyoto.jp

ホームページでは、学校便りをカラーで見たいことができます。

今年度最初の参観・懇談会

5月13日(水)は今年度最初の授業参観・懇談会を行いました。授業では、子どもたちは少し緊張しながらも、手を挙げて発表したり、友達と意見を交流したりと、一人一人が自分の力を発揮しようとする姿が見られました。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中ご来校いただき、誠にありがとうございました。温かいまなざしで子どもたちの学びを見守っていただいたことが、子どもたちにとって大きな励みとなりました。懇談会では、教育目標や今年度の取組、学級での子どもたちの様子など、保護者の皆様と共有する貴重な時間となりました。

本年度も、子どもたち一人一人の成長を大切にしながら、日々の教育活動を進めてまいります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。





ま マーク：
放課後まなび教室

日	曜日	6月行事予定	保健行事
1	月	朝会 安全指導 放課後まなび教室開始	内科検診 5・6年 水泳学習健康相談
2	火	全校遠足①～③	
3	水	ソフトボール投げ	歯科検診1・3・4年
4	木	プール清掃⑤6年 完全下校 ソフトボール投げ予備日	フッ化物洗口
5	金	わあのなかま 委員会⑥	1年心臓検診2次
6	土		
7	日		
8	月	5年花背山の家宿泊学習 2年ひらがな聞き取りテスト	
9	火	5年花背山の家宿泊学習	
10	水	5年花背山の家宿泊学習 銀行振替日 食育指導2-1	
11	木	4年浄水場社会見学(午前中) 5年生登校③から プール清掃予備日	フッ化物洗口
12	金	わあのなかま クラブ⑥ 食育指導2-2	
13	土		
14	日		
15	月	たてわり掃除(26日まで) たてわり遠足予備日	
16	火	水遊び(低水位)	
17	水	水遊び(低水位) 6年租税教室②	歯科検診 2・5・6年・ひかり
18	木	水泳学習開始 4年さすてな京都社会見学(弁当あり)	フッ化物洗口
19	金	わあのなかま 参観・引き渡し訓練 完全下校	
20	土		
21	日	少年補導ドッジボール大会	
22	月	4年茶道体験②③ 完全下校	
23	火	4年茶道体験②③	
24	水	6年薬物乱用防止教室③ なかよしタイム 食育指導3-1	
25	木	銀行再振替日 完全下校	フッ化物洗口
26	金	わあのなかま 5時間授業・完全下校	
27	土		
28	日		
29	月	木曜校時・完全下校～7/1まで	
30	火	木曜校時・完全下校 4年鳥羽水環境保全センター社会見学(午前中)	
【7月主な行事】 1日(水) 木曜校時・完全下校 2日(木) 4-1以外給食後完全下校 7日(火) 木曜校時4時間授業・完全下校 13日(金)～16日(木) 個人懇談会 木曜校時・完全下校 22日(水) 1学期終業式・5時間授業・完全下校			



水遊び・水泳学習が始まります



6月4日(木)に6年生がプール清掃をします。16日(火)からは水遊び、18日(木)からは水泳学習が始まります。水着(必要に応じてラッシュガード)・帽子・タオル・ゴーグル(必要な人)のご用意をお願いします。すべての持ち物に記名をしてください。また、耳鼻科や眼科などの疾病は、早いうちに治療を済ませておいてください。

入水チェックは、今年度も「すぐーる」で行います。チェックが無い場合は、プールには入れませんのでご注意ください。



5月の様子



わあのなかま1年生を迎える読み聞かせ会 5/1

5月1日(金)に「わあのなかまの1年生を迎える読み聞かせ会」が行われました。まずは、わあのなかまの読み聞かせのお約束を教えてくださいました。そのあと、絵本や大型絵本の読み聞かせや紙芝居などをしていただきました。時にはメンバーの皆様が動きをつけて読み聞かせをしてくださったり、音楽や効果音があったりして、子どもたちは物語や詩の世界に没頭して聞いていました。「すっごく面白かった!」「もっと聞きたい!」という声も子どもたちから上がっていました。

わあのなかまの皆様、楽しい時間をありがとうございました。わあのなかまの皆様は、毎週金曜日の朝に各クラスで読み聞かせをしてくださっています。これからもいろいろな本との出会いを楽しみにしてほしいと思います。



音楽鑑賞会 5/7



マリンバ・カンパニーの皆様をお招きし、音楽鑑賞会を開催しました。鑑賞会では、本格的なクラシック音楽の演奏に、子どもたちは引き込まれるように耳を傾けていました。大きさは異なるものの、子どもたちにとって身近な木琴やさまざまな打楽器も、プロの手にかかると、とても美しく響くことに感動していました。

また、マリンバをはじめとする打楽器やマレットについて分かりやすく説明していただいたり、「くまばちの飛行」に合わせて膝を叩き、演奏に参加する体験をしたりするなど、内容豊かな鑑賞会となりました。

マリンバ・カンパニーの皆様、すばらしい演奏をありがとうございました。



1年生を迎える会 5/15



全校児童で「1年生を迎える会」を行い、新しく光徳小学校の仲間になった1年生を、みんなで温かく迎えることができました。6年生が1年生と手をつないで入場し、その後、各学年が心を込めて準備した出し物を披露しました。楽しい歌や、思わず笑顔になるクイズなど、それぞれの学年らしい工夫が見られ、会場は大いに盛り上がりました。1年生も興味津々で、笑顔いっぱいの様子でした。また、1年生からもお礼の気持ちを込めて歌の発表がありました。元気いっぱいの歌声に、会場からは大きな拍手が送られ、1年生の頑張る姿がとても印象的でした。

その後は、たてわりグループに分かれて活動を行いました。それぞれのグループで自己紹介をしたあと、遊びを通して交流を深めました。上級生がやさしく声をかける姿も多く見られ、学年をこえた関わりが広がる時間となりました。これからも、たてわり活動などを通して、全校で助け合いながら楽しい学校生活を送っていきたいと思います。



4年 自転車安全教室 5/27



自転車の正しい乗り方や交通ルールについて学ぶ「自転車安全教室」を行いました。運動場には、道路を想定したコースをラインで引き、実際の交通状況に近い形で練習できるようにしました。子どもたちは安全確認をしっかりとすることや道路の左側を通行することなど、教えてもらったことをしっかりと意識しながら一人一人が慎重に運転する姿が見られました。自転車に乗って練習する実技以外にも、自転車の交通ルールについての学科試験を行いました。

自転車安全教室を通して、安全確認の大切さやルールを守ることの重要性を実感することができました。今回学んだことを、これからの生活の中でも生かして行ってほしいと思います。

自転車安全教室開催に当たり、ご協力いただきました下京警察の皆様、地域・保護者ボランティアの皆様、ありがとうございました。



人権コラム

♪一番きれいな色ってなんだろう？

この歌い出しを聞いて、すぐにMr.Childrenの「GIFT」が思い浮かんだ方。きっとミスチル仲間ですね！ 私も大好きな一曲です。

では、改めて問いかけさせてください。

あなたの好きな色は、何色ですか？

私は「黄色」が好きです。

でも実は、「黄色」と一口に言っても、名前があるものだけでも何十色もあります。

さらに4色のカラープリンターを使えば表現できる色は数百万色にもなると言われています。

この世界は、数えきれないほどたくさんの“色”でできているのです 🌈

「できる・できない」「良い・悪い」

私たちはつい、物事を白か黒かで分けてしまいがちです。

でも、本当に大切なのは、白と黒のその“間”に目を向けることではないでしょうか？

Mr.Childrenの「GIFT」のサビの一節にあるように、

“白と黒のその間には無限の色が広がっています”

そのグラデーションの中には、名前もない無数の色が存在しているのです。

子どもたちは、一人ひとりみんな違います。

- 興味が多く、じっと同じことには集中できない子。
- 他の人が気にも留めないことを、ものすごく気にする子。
- 一つのことのにめり込むと、声をかけても全く耳に届かない子。

そのすべてが、その子にしかない特別な“色”です。

そして—— その色に、優劣はありません。

もしかしたら、今の学校という社会においては弱点に見える“色”も、場所や環境が変われば、大きな可能性として輝きを放つことがあります。社会で必要とされる力は、実に幅広く、多様で、奥深いものです。

人と違う感性を持っていること。

人と違う視点で世界を見られること。

それは、社会に出たとき、人とは違う世界を表現できる強烈な強みになるかもしれません。

ほら、アリの行列を何時間でも飽きずに眺めていられる子が、未来の生物博士になることだってあるでしょう。

世界の偉人と呼ばれる人たちの中にも、発達特性を持っていたと言われる人は少なくありません。

だからこそ、かけがえのない自分の色を、堂々と生きてほしい。

そして私たちも、互いの色を認め合い、支え合い、伸ばしていける存在でありたいと思うのです。

私は、「ひかり学級」のような特別支援学級に関わって、今年で10年目になります。

日々、子どもたちと向き合う中で、何度も考えてきました。

特別支援教育とは、

発達に支援を要する「誰か」に特別な対応をする教育ではなく、

“一人ひとりが特別な存在”として大切にされ、

それぞれの色を尊重し、寄り添っていく教育なのだ。

すべての子どもが、安心して、自分の色のまま輝ける場所へ。

そのために、私たち大人にできることは何か。

これからも一緒に考え、歩んでいけたら嬉しいです。

ひかり学級担任 鹿野 裕介

